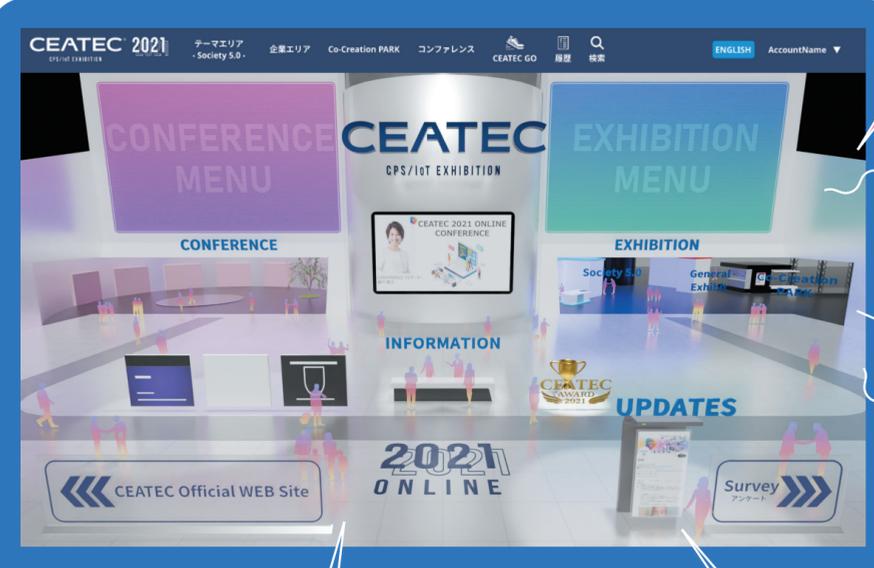


CEATEC 2021 ONLINE

19日に開幕

2021. 10.19 **Tue** から 10.22 **Fri** まで
オンラインで開催

19日から22日までの4日間、CEATEC 2021 ONLINEが開催される。CEATECはCPS(サイバー・フィジカル・システム)やIoT(モノのインターネット)をはじめとする革新技術が集結し、超スマート社会(ソサエティ5.0)の実現を目指す総合展示会。主催は電子情報技術産業協会(JEITA)で、今回は300社・団体以上が出展予定。うち3割は新規出展を見込む。展示エリアは「企業エリア」「Society5.0エリア」「Co-Creation PARK」の三つで構成。未来の社会・暮らしを支える電子部品やデバイス、人工知能(AI)などのIT・エレクトロニクスの先端技術をはじめ、工作機械・金融・流通・医療・エネルギーなど、幅広い産業・業種の企業・団体のビジョンや取り組みが紹介される。さらにカーボンニュートラル、第5世代移動通信システム(5G)などのカテゴリーに分かれ、130以上のコンファレンスを実施される。



主催者に聞く 目的別おすすめブース

教えてくれたのは
電子情報技術産業協会 CEATEC推進室長
吉田 俊さん

業界のトレンドを知りたい人向け
今年ソサエティ5.0の実現に向けた四つのテーマ「カーボンニュートラル」「スーパーシティ/スマートシティ」「5G」「モビリティ」に関する展示やコンファレンスに注目です。東芝や富士通、日立製作所、パナソニック、NEC、ソニーグループといった企業はもちろん、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)や情報通信研究機構(NICT)、科学技術振興機構(JST)、理化学研究所などの研究機関も数多く出展します。またTDKやアルプスアルパイン、村田製作所といった電子部品企業の展示は、将来のトレンドを見極めるためにも必見です。トレンドを把握したい人は、これらの最先端のソリューションはしっかりと押さえておくべきといえるでしょう。竹中工務店や大成建設、戸田建設など大手建設会社のまちづくりに関する展示にも注目です。

何度も来場している「CEATEC通」向け

何と言っても今年初出展の企業・団体に注目です。アドビやソフトバンクといったテクノロジー企業に加えて、ポララや三菱ふそうトラック・バス、ENEOS、出光タジマEVなど幅広い産業・業種の企業が初出展します。「Co-Creation PARK」は国内外のスタートアップが集結するエリア。特に注目なのが、日本貿易振興機構(ジェトロ)による全世界を対象とした海外スタートアップコンテスト「Japan Challenge for Society5.0」で選ばれた18カ国・地域のスタートアップが出展する「JETRO Global Connection」です。スタートアップならではのテクノロジーやソリューションをぜひご覧ください。オンライン開催のメリットは、好きな時間に何度でも来場できること。スタートアップ企業をじっくり時間をかけて巡ることで、新たな共創のきっかけやチャンスが見つかるかもしれません。

CEATECに初めて来場する人向け

CEATECは「テクノロジーだけではなく、テクノロジーで実現したいビジョンや未来像が披露される場」です。シャープや三菱電機、京セラ、太陽誘電、タイコエレクトロニクスジャパン、アマゾンウェブサービスジャパンといった、例年多くの注目を集めている出展者の展示は今年も見逃せません。ビデオチャット機能で各出展者とコミュニケーションを図るなど各種ツールや機能をフルに活用して、CEATECをお楽しみください。展示だけでなくコンファレンスにも注目です。デジタルトランスフォーメーションや空飛ぶクルマ、AIなど多彩なトピックが用意されており、企業はもちろん、省庁や諸機関のキーパーソンが多数登壇します。130を超える、キーノートやパネルディスカッションなどをお見逃しなく。

今回新たに追加された機能

New ビデオチャット機能

企業ブース内のミーティングルームで、出展者とビデオ通話できます。アプリケーションをインストールせずに、ブラウザ上で気軽にコミュニケーションを図れます。

New 来場状況の可視化

「非常に混雑」「混雑」「やや混雑」のアイコン表示により、混雑状況が一目でわかります。自分以外にも多くの来場者がオンライン会場を訪れていることが確認できます。

来場登録はこちらから
www.ceatec.com



CEATEC 2021 ONLINE 出展ブースピックアップ

社名をクリックしてブースへアクセスできます

アズビル

アズビルの「現場でつくる作業記録サービス」は、「スモールスタートで始めるDX」という発想で、あらゆる記録のデジタル化を支援する。直感的な操作で、利用者が簡単に自分たち専用の記録アプリを作成・運用することが可能。管理や報告など手書きが主体だった業務のデジタル化を、リソースやスキルに影響されず素早く実現したいというニーズに応える。蓄積されたデータを活用し、効率化を超えた業務変革に貢献する。

入力ツールからドラッグ&ドロップで簡単に画面作成が可能

アンリツ

アンリツは通信インフラを支える電子計測器を開発・製造する。5Gは超高速、大容量、超低遅延、多数同時接続が特徴。5Gの本格普及により、自動車や医療、製造業、建設業などの幅広い産業でも情報通信技術の活用が可能となる。同社は顧客との協業で、従来のビジネス領域を拡大し、高度化するネットワーク社会の実現を図る。同時に、コアコンピタンスである「はかる」技術を追及し、毎日の安心・安全な社会の実現に貢献する。

5G製品開発に必須の5G評価ソリューションシステム MT8000A

イリソ電子工業

イリソ電子工業はコネクタ開発の先進的企業。「新しい日常へ。つなく、ミライ。」をテーマに、「自動運転」「電動化」など5つのチャンネルを設定。フローティング機能と高速伝送技術を融合した「10143シリーズ」、3次元可動「Z-Move」などの新製品をはじめとした、さまざまな接続提案を動画などでわかりやすく紹介する。また20日に開催されるセミナー「ニュースイッチラボ」内で、鈴木仁社長の対談インタビューを放映する。

高速伝送対応コネクタ「10143シリーズ」

コーデンシ

コーデンシは光半導体製品の開発、生産、販売に取り組み、赤外線測距センサーやフォトインターラプターなどの光センサー分野では多種多様な製品群を有しているリーディングメーカー。新型コロナウイルスにより非接触操作のニーズが増える中、光センサーを応用した非接触操作デバイスの開発に注力している。飲食店、公共空間、アミューズメント施設などで「触れず」に面白い情報入力ができるソリューションとして提案する。

光センサーを応用した非接触操作デバイスに注力

TE Connectivity

接続とセンサー分野で世界をリードするTE Connectivityは「Engineering the Future(未来をエンジニアリングしましょう)」をテーマに出展する。メディカル、データセンター、航空宇宙などの幅広い分野におけるセンシングやコネクティビティに関するテクノロジーとソリューションを提案。またニューノーマル社会の形成をけん引するテクノロジートレンドについて、TEのエンジニアやエキスパートがセミナーを通して紹介する。

革新的な接続技術でファクトリーオートメーションを推進



ENGINEERING THE FUTURE

未来をエンジニアリングしましょう

TE Connectivityは、「CEATEC 2021 ONLINE」に、「Engineering the Future(未来をエンジニアリングしましょう)」をテーマに出展します。「トランスポート」「インダストリアル」、「データ コミュニケーションズ」に対する3つのソリューションを13の展示チャンネルで紹介。特に、国内外で注目が集まりつつある自動運転や電動化のイノベーションを加速させる「未来のモビリティ」や、Society5.0を支える「未来のファクトリー」を中心に、持続可能な未来の社会を実現するTEの最新テクノロジーやソリューションについて紹介します。



タイコ エレクトロニクス ジャパン合同会社
本社：神奈川県川崎市高津区久本3-5-8
TEL 044-844-8111(大代) 044-844-8052(カスタマーサービス)
© 2021 TE Connectivity, TE Connectivity, TE, TE Connectivity (logo) and EVERY CONNECTION COUNTS are trademarks.



CEATEC 2021 ONLINE
2021.10.19 曜 ▶ 10.22 曜
企業エリア General Exhibit Area



CEATEC期間中に、TEのブースでアンケートにご回答いただいた皆様へ、抽選で毎日100名に「TEオリジナル スマートシティ ハローキティ」ぬいぐるみをプレゼントします。



日刊工業新聞の記者が注目する製品・技術

CEATEC 2021 ONLINE 出展企業が応募した製品・技術・サービスの中から、イノベーション性が高く優れているものを表彰する「CEATEC AWARD」。11回目を迎えた今回、ソサエティ5.0の実現に向けた選りすぐりの製品や技術が集まる。応募製品の中からユニークな製品・技術をピックアップ。日々、最新技術動向を追いかける日刊工業新聞の記者が注目ポイントや今後の普及予測などを解説する。

CEATEC

CPS/IOT EXHIBITION

2021
ONLINE

pick 1



三菱電機のZEB(ゼロ・エネルギー・ビル)関連技術実証棟「SUSTIE(サスティエ)」は単なる研究開発拠点にとどまらない。自然エネルギー活用や省エネルギーなど保有技術の粋を結集したショーケースと位置づけられる。

情報技術総合研究所(神奈川県鎌倉市)内に2020年10月に完成したサスティエは敷地面積に余裕のない都市部の中規模・中層ビルを想定し、屋上とひさしだけに太陽光パネルを設置する。従来のZEBは太陽光パネルを屋上のみに加え、小規模ビルか、屋上と周囲の広い敷地に設置する中規模ビルがほとんどだ。都心におけるZEBの新たな選択肢としてサスティエをつくった。

建築手法から気を配り、高効率設備や自然風などの自然エネルギーを積極的に導入したほか、得意とする空調などのビル設備制御技術で大幅な省エネを実現した。

ただ、そこで働く人や住む人に我慢を強いては長続きしない。快適性・健康性と両立も大きな課題だった。そこで、地上4階建てのフロアごとに「対話」「リラックス」「集中」とテーマ分けした執務室を従業員が自由に選択でき、従業員数より1.5倍多い席を用意して快適な空間を構築した。

今後は「ZEB+(ゼブプラス)」をキーワードに、省エネや快適性の追求に向けた技術開発を加速する。顧客やパートナー企業を巻き込んだ実証実験を数多く計画しており、その一部はすでに実施中だ。脱炭素社会の実現につながる新たな技術がサスティエから次々と生まれそうだ。

省エネと快適な居住空間の追求



編集局第一産業部 編集委員
鈴木 岳志

pick 2



京セラはカメラ1台とパソコン、ディスプレイの設置のみで利用できる画像認識型レジ「スマート無人レジシステム」を開発した。1秒間に30フレームの速度で商品認識する。レジ台に置いた複数の商品形状、大きさ、色を瞬時に判別し、重なった商品も6割程度見えていれば認識できる。従来の物体認識技術では、新規商品の追加登録時に、既存商品と合わせ全商品の再学習が必要だったが、新規商品のみを追加学習が可能。省人化に課題を持ち、大規模投資が困難な中・小規模小売店、社員食堂などでの利用を想定し、2023年の発売を目指す。

京セラが自動運転向け車載カメラで培った画像認識技術を活用した。従来の無人AI決済システムは、店舗内に多数のカメラ設置が求められるなど、初期投資や保守点検コストが課題だが、これを大幅に削減できる。

独自の物体認識AI技術で、分類精度を維持したまま商品数を拡大でき、作業者の負担を減らせる。例えばシステムに登録済みの100商品に、新たに10商品を追加する場合、従来のカメラ認識型システムで4日間かかっていた作業を15分と大幅に短縮できる。同システム1台で約6000種類以上の商品を登録し、認識することが可能。

国内では、労働人口の減少で小売店やコンビニエンスストア運営の効率化、省人化が課題だ。新型コロナウィルス感染症の拡大防止のため、店舗内での対人接触機会の削減も求められている。安価で簡便に導入可能な同システムは、ニーズに合致している。

省人化・非接触に対応 画像認識型レジ



京都総局 記者
大原 佑美子

pick 3



シャープはワイヤレスイヤホンスタイルの耳あな型補聴器「メディカルリスニングプラグ」を発売した。コロナ禍でのマスク着用やアクリル板の設置、オンライン会議の増加などにより、聞き取りにくさから耳をすまして聞く場面が増えているため、コロナ禍以前に比べ耳への負担も大きい。こうした負担を軽減し、従来型補聴器の着用に抵抗がある人に配慮したスタイリッシュなデザインに仕上げた。

メディカルリスニングプラグは軽・中等度難聴者向け医療機器の認証を取得。補聴器の性能を備えながら、内蔵マイクによりハンズフリー通話や音楽鑑賞もできる。オフィス、ホテル、レストランの接客、建設現場など幅広いビジネスシーンのほか、休日を含めた利用環境に応じた設定ができる。シャープは自社の情報通信技術(ICT)を新たな医療ソリューションの創出に生かす狙いで医療機器製造・販売のニューロシューティカルズ(NC)、東京都文京区)と資本業務提携契約を結んだ。新しい補聴器はその協業第1弾だ。

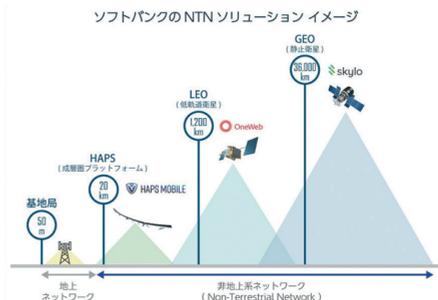
従来型補聴器は顧客が調整のために販売店に複数回通う必要がある。新製品はシャープのアプリケーション(応用ソフト)を使用したサポートにより、リモートでフィッティング対応できる。シャープのICTグループ長を務める津末陽一専務執行役員は「量販店などにも置いて頂き、『こういう補聴器がある』と気付いてほしい」と期待する。今後はシャープ自身が目指す工場の操業や安全・品質の対策など国内の薬機法(旧薬事法)のクリアにより、医療機器のラインアップも増えそうだ。

補聴器+イヤホン機能 幅広い環境に適應



大阪支社経済部 編集委員
林 武志

pick 4



ソフトバンクは宇宙空間や成層圏から通信を提供する「ノン・テレステリアル・ネットワーク(NTN, 非地上系ネットワーク)構想」の実現を目指している。同社によると、現在でも世界の人口の約半分がインターネットを使えていない。地上のあらゆる場所に通信設備を整えることは費用や管理の面から現実的でなく、NTNの活用が期待される。

NTN構想は、静止衛星を活用したIoT向け通信「Skylo(スカイロ)」など複数のソリューションからなる。中でも注目されるのは、同社が「空飛ぶモバイル基地局」と銘打つ「HAPS(ハップス)」だ。2027年度ごろの商用化を見込んでいる。HAPSは高度20キロメートルの成層圏から電波を提供。山岳地帯や島しょ部でも携帯通信を利用しやすくなる。ソフトバンク傘下のHAPSモバイル(東京都港区)は20年、無人航空機「サンライダー」を用いて成層圏からの通信に成功しており、HAPS実用化へ前進しつつあると言える。

通信業界では宇宙関連技術の開発競争が激しくなっている。例えばNTTはスカパーJSATホールディングス(HD)と組み、宇宙で即時に情報を分析する仕組みなどの構築を進める方針だ。KDDIも衛星通信分野で米スペースXと提携した。宮川潤一ソフトバンク社長は、こうした他社の動向を踏まえ「皆が挑戦していくことで、新しい技術が生まれる。多様なテクノロジーを興味深く追いたい」と意欲を示した。宮川社長は技術畑の出身。今後、宇宙通信分野でも指導力の発揮が望まれる。

ネットワークは空へ 宇宙へ



編集局第一産業部 編集委員
斎藤 弘和

高速伝送

25 Gbps

HIGH SPEED × FLOATING

可動量

±0.8mm

IRISO



基板対基板コネクタ
10143シリーズ

「CEATEC 2021 ONLINE」に出展します。

皆さまのアクセスを心よりお待ちしております。

CEATEC 2021
CPS/IOT EXHIBITION ONLINE



IRISO 電子工業株式会社

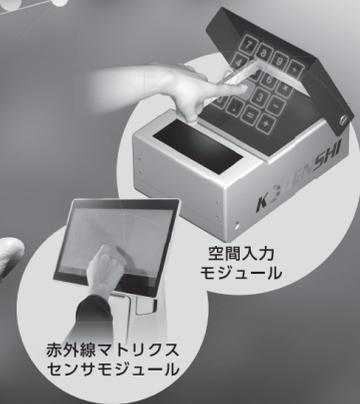
〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-13-8 TEL 045-478-3111(代表)

●国内営業所: 神奈川/大阪/愛知/茨城/福島 ●海外営業所: アメリカ/ドイツ/香港/シンガポール/マレーシア/タイ/フィリピン/上海/韓国/台湾/インド ●工場: 茨城/上海/南通/フィリピン/ベトナム

New Normal、 光でつなぐコーデンシ

KODENSHI

非接触操作！
「触れず」に「おもしろく」、
光で情報入力！



CEATEC ONLINE コーデンシ ダイレクトリンク
https://www.kodenshi.co.jp/top/kodenshi_virtual/lp013_ceatec_2021/



社名：コーデンシ株式会社 連絡先：0774-20-3559 住所：〒611-0041 京都府宇治市横島町十一の161

Anritsu

Advancing beyond

5Gネットワークサービスを活用する世界が徐々に
見えてきました。5Gは通信の高速化のみならず、
超低遅延や多数同時接続が特徴です。今までは
実現が困難だった自動車、医療、製造業、建設業
など、幅広い産業における情報通信技術の活用
が可能となります。Anritsuは、多くのお客さまと
の協業により、これまでのビジネス領域を拡大
してまいります。また、コアコンピタンスである
「はかる」技術を追求め、毎日の安心・安全で快適
な社会の実現に貢献してまいります。

アンリツ株式会社
www.anritsu.com


azbil

人を中心としたオートメーション

あすみる、 アズビル。

オートメーションで未来を描く

アズビルは、計測・制御技術を通して、安心・快適の実現と地球環境に
寄与してきました。これからも、お客さまに寄り添い、お客さまの現場に
おける価値の創造により、持続可能な社会の実現に貢献します。

アズビル株式会社

ニューススイッチラボ in CEATEC2021 ONLINE

CEATEC2021 ONLINEにおいて日刊工業新聞社のオンラインメディア「ニューススイッチ」が
主催するコンファレンス/セミナーを今年も開催！ ※開催後はオンデマンド配信されます

次世代自動車の潮流と
デバイステクノロジーの相関
10月19日(火) 10:30~11:15 **Ch5-101**



TE Connectivity
 オートモーティブ 技術・開発本部
 本部長 川中 太郎氏



ナカニシ自動車産業リサーチ
 代表 中西 孝樹氏



日刊工業新聞社
 執行役員
 デジタルメディア局長 明 豊

CEATEC2021 ONLINEに
ご登録いただければ、
どなたでも聴講可能です！
登録はこちらから



コネクタのフローティング技術とその未来
～見えない部分で価値を提供する
イリソ電子の魅力に迫る～
10月20日(水) 11:00~11:45 **Ch5-202**



イリソ電子工業
 代表取締役社長 鈴木 仁氏



イリソ電子工業
 技術部次長 大熊 誉仁氏



イリソ電子工業
 USA販社マネージャー 松坂 治氏



日刊工業新聞社
 デジタルメディア局
 ニューススイッチ編集長 齋藤 隆太

JAE

CASE 大電流/高速伝送/耐環境

ウェアラブル PPG/ECGセンサを支える

5G基地局 SFP熱対策

技術セミナー 放射ノイズ対策事例

CEATEC
 CPS/IOT EXHIBITION

技術セミナー 小型アンテナ技術

JAE LAB AIミニ自動車CONNECTan

スマートファクトリー SPE/High Speed

UI/UX 非接触静電センサ

産業用ドローン 自動航行レベル4に向けて

JAE CEATEC special website



つなぐ技術で
未来をつくる

CEATEC 2021 ONLINEに出展します

Date:
2021.10.19 Tue - 10.22 Fri
JAE Booth:
General Exhibit Area

チャット対応時間 10:00-17:00 CEATEC WEBSITE



Connectors & Sensors
航空電子
www.jae.com

JAE

日本航空電子工業株式会社

本社
 国内営業拠点
 国内生産拠点
 海外拠点

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-21-1

仙台・宇都宮・東京・豊田・大阪・福岡

昭島(東京)・弘前(青森)・新庄(山形)・上野原(山梨)・松川(長野)・福井(福井)

アメリカ・メキシコ・イギリス・ドイツ・フランス・イタリア・スウェーデン・シンガポール・フィリピン・香港・台湾・中国・韓国

詳細な製品情報は
ホームページでご確認ください。

<https://www.jae.com>